

## 安全運転のポイント

### ■追突事故はこのように起きる

平成24年における全国の類型別交通事故発生件数をみると、追突事故が34.8%で最も多く、人对車両事故の順となっています(図1)。

追突事故のパターンには、さまざまなものがありますが、比較的好く発生する追突事故パターンをまとめてみると、次のようになります。

### ●交差点を通過するとき

- ・黄色信号にさしかかった前車が停止して追突(図2①)
- ・対向右折車のため前車が停止して追突(図3②)
- ・交差点を右折した前車が対向車のため停止して追突(図3③)
- ・交差点を直進した前車が横断歩行者等のため停止して追突(図4④)
- ・交差点を左折した前車が横断歩行者等のため停止して追突(図4⑤)
- ・交差点を右左折したところ、右左折先の駐車車両に追突(図4⑥)
- ・信号が青に変わり発進したところ、まだ発進していなかった前車に追突

### ●単路を走行しているとき

- ・前車のタクシーが客を乗せるために急停止して追突
- ・トンネル入口で急減速した前車に追突
- ・道路外から自車の前方に進入してきた前車に追突

### ●高速道路を走行しているとき

- ・ETC入口ゲートで急停止した前車に追突
- ・見通しの悪いカーブの先の渋滞車両に追突
- ・渋滞に巻き込まれ、ノロノロ運転で漫然運転となり追突

### ●その他の状況

- ・雨や雪でスリップして追突
- ・夜間運転で前車との車間距離が詰まって追突
- ・早朝や長距離運転で居眠り運転となり追突

### ■追突事故はこうして防ごう

#### ●十分な車間距離をとる

前車が急停止しても、十分な車間距離をとっていれば追突を防ぐことができます。車間距離の目安としては、時速の数字を距離に置き換えた数値(80km/hであれば80m)となります。

図1 事故類型別交通事故発生件数の割合(平成24年)  
(平成24年版交通統計・交通事故総合分析センター)

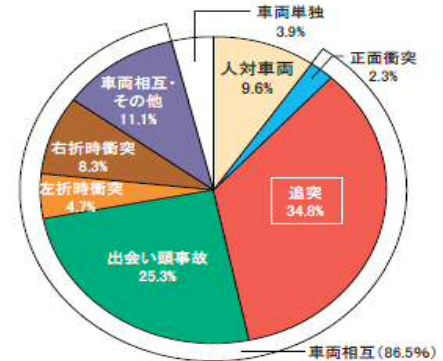


図2

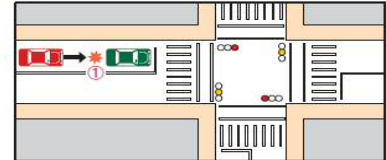


図3

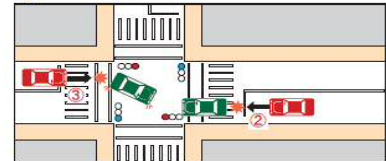
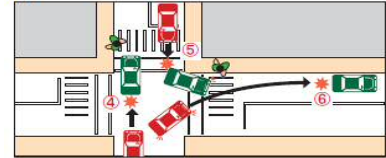


図4



### ●脇見、漫然運転をしない

車間距離が十分であっても脇見は追突の危険を高めます。運転中は決して脇見をしないようにしましょう。また、低速で前車に追走しているときなどには、漫然運転になってしまい、前車の停止に気付くのが遅れて追突することもあります。低速走行でも油断しないように注意しましょう。

### ●「だろて運転」をしない

前方の信号が黄色に変わったとき、「前車は停止せずに交差点を通過するだろう」とか、単路の走行時に「前車が急に減速したり停止することはないだろう」といった自分に都合のよい「だろて運転」はせず、常に「前車は減速や停止をすゝかもしれない」という「かもしれない運転」を行いましよて。

### ●前車の先の状況にも気を配る

対向右折車や横断歩行者の為、前車が急停止することもあります。前車だけでなく、その先の状況にも気を配り、前車の停止を早めに予測しましよて。

### ●前車の発進を確認して発進する

交差点での発進時に、信号だけを確認して発進したり、隣の車線の車が発進したのでそれにつられて発進すると、まだ、発進していない前車に追突することがあります。発進時には、必ず前車が発進したかどうかを確認しましよて。

### ●路面や心身状態に注意する

雨で濡れた路面など停止距離が伸びる状況では、いつも以上に車間距離をとり、スピードを抑えた運転をしましよて。また、疲労や寝不足で集中力が低下しやすい長距離運転では、こまめに休憩をとるようにしましよて。

